

# 動き出した 「まちづくり市民会議」

総合計画基本構想を策定するために「市民会議」と「若手職員会議」が一緒に活動しています。

第1回の活動ではタウンウォッチング、講演会を開催しました。

第2回の活動では参加者が各グループに分かれ自由闊達な意見交換が行われてきました。この会議は、計画策定への市民参画の手法で主流になりつつある「KJ法」によるワークショップ」により行っています。



市民会議のメンバーによるワークショップ

## KJ法による ワークショップの流れ

**1** カード記入  
グループごとに、与えられたテーマについてブレインストーミング（自由討議）の後、自分の意見、思いをカードに記入していきます。

**2** カード読み上げ・カード並べ  
グループごとに、意見を記入したカードを読み上げながら、模造紙上に並べ、同じような内容のものを集め、全体の関係性を話し合いながら、分類・取りまとめ方法を考えていきます。

**3** 成果のとりまとめ  
色マジックなどを活用しながら、分類したカード群に見出し（タイトル）や補足説明を記入し、出された意見を整理して取りまとめ、最後にグループごとに発表します。

## 第3回活動報告

まちづくり市民会議

6月21日（水）午後7時

第2回市民会議で出された「行方市の強み・弱み、強みを伸ばし弱みを解決するアイデア」に関する意見集約をもとに、班ごとに自由討議を行い10年後の姿「キャッチフレーズ、特徴・売り」を導き出す作業を行いました。

前回出された意見の内容を別の角度から再検討するため、新しく班編成をし、意見交換を行いました。アイデアは他にはないか等、強み・弱みに対する意見を再度まとめました。

### 今後の作業

行方市の10年後の姿として、「ライフスケッチ、キャッチフレーズ、特徴（売り）、アイデア」を市民会議の意見として一元化していき、将来像の実現を目指していく計画づくりに提案していきます。

